

6. 人権尊重・男女の地位の平等について

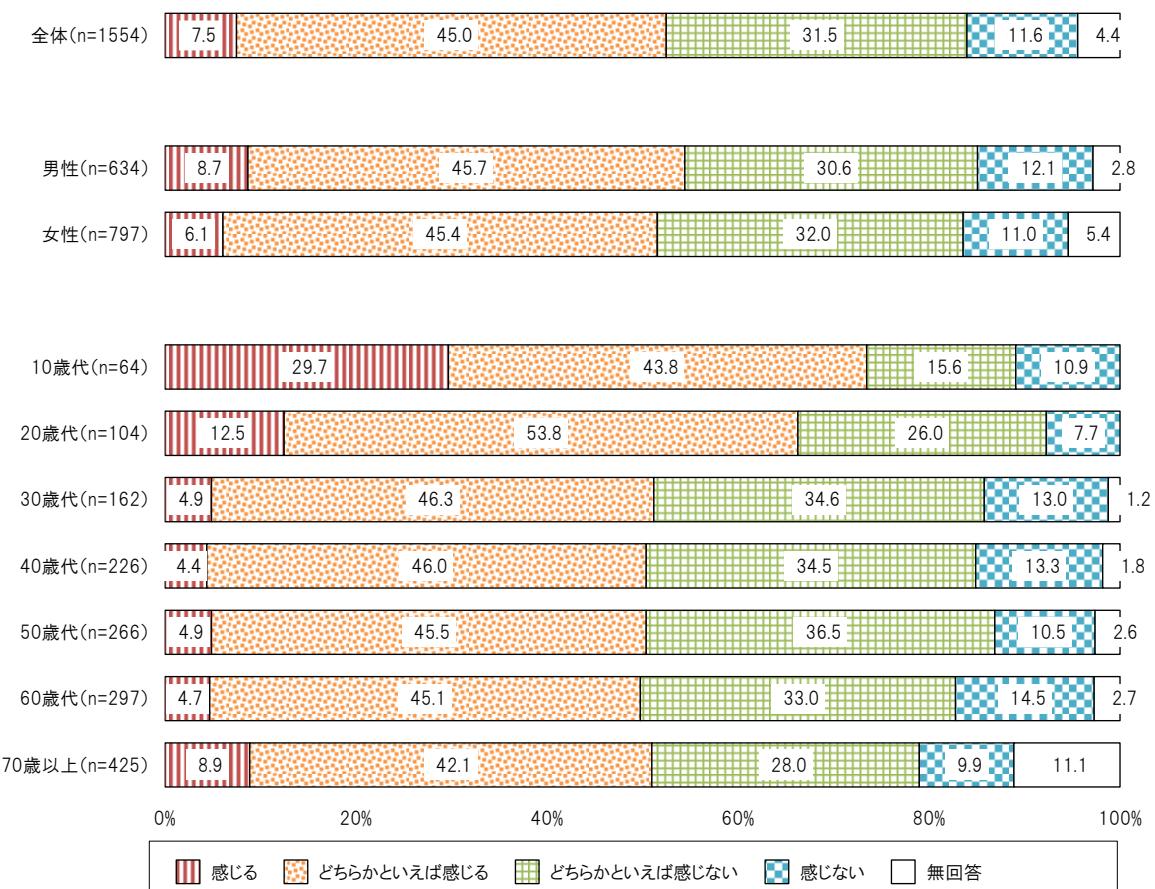
問23 松阪市は、人権が尊重されている社会になっていると感じますか。(○は1つだけ)

全体では「どちらかといえば感じる」が45.0%で最も高く、ついで「どちらかといえば感じない」が31.5%、「感じない」が11.6%となっている。

性別にみると、「感じる」の割合は男性の方が女性より2.6ポイント高いものの、ほぼ同割合となっている。

年代別にみると、「感じる」と「どちらかといえば感じる」の合計の割合について、10歳代で73.5%と最も高くなっているが、ついで20歳代で66.3%となっている。他の年代では50%前後となっている。

問23 松阪市は人権が尊重されている社会になっているか



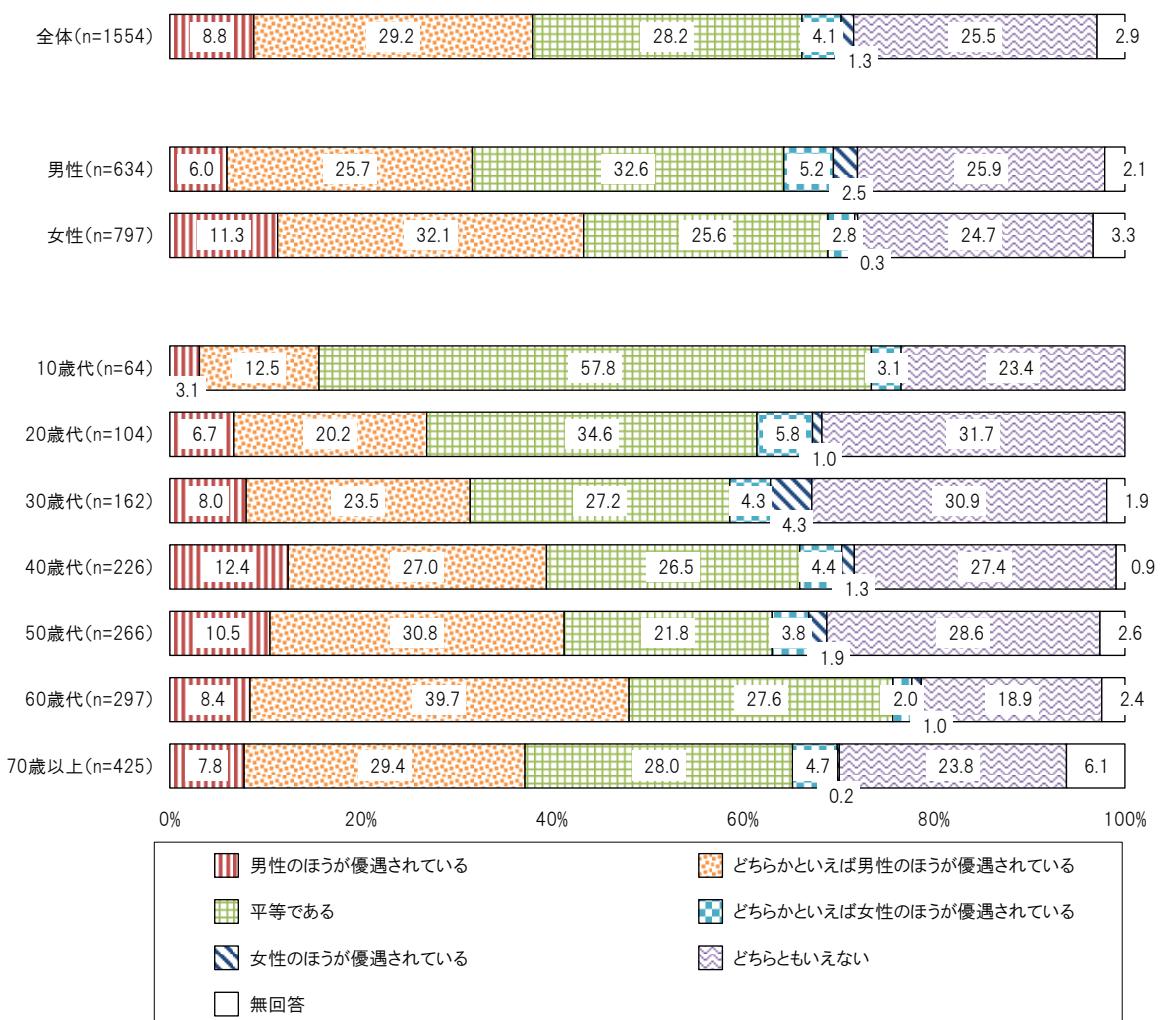
問24 家庭生活において、男女の地位が平等になっていると思いますか。(○は1つだけ)

全体では「どちらかといえば男性のほうが優遇されている」が 29.2%で最も高く、ついで「平等である」が 28.2%、「どちらともいえない」が 25.5%となっている。

性別にみると、「平等である」の割合は男性の方が女性より 7.0 ポイント高くなっている。一方で、「どちらかといえば男性のほうが優遇されている」、「男性のほうが優遇されている」の合計の割合は女性の方が男性より 5 ポイント以上高くなっている。

年代別にみると、「男性のほうが優遇されている」と「どちらかといえば男性のほうが優遇されている」の合計の割合について、60 歳代で 48.1%と最も高くなっています。ついで 50 歳代で 41.3%となっている。一方で、10 歳代では 15.6%、20 歳代では 26.9%と低くなっています。また、各年代で最も高い割合となっている項目をみると、10 歳代、20 歳代では「平等である」、30 歳代、40 歳代では「どちらともいえない」、50 歳代、60 歳代、70 歳以上では「どちらかといえば男性のほうが優遇されている」となっています。

問24 家庭生活において、男女の地位が平等になっているか



前回と比較すると、「どちらともいえない」の割合は、前回が 8.4% であったのが今回は 25.5% と 17.1 ポイント高くなっている。また、「男性のほうが優遇されている」と「どちらかといえば男性のほうが優遇されている」の合計の割合について、前回が 50.5% であったのが今回は 38.0% と 12.5 ポイント低くなっている。

問24 家庭生活において、男女の地位が平等になっているか

